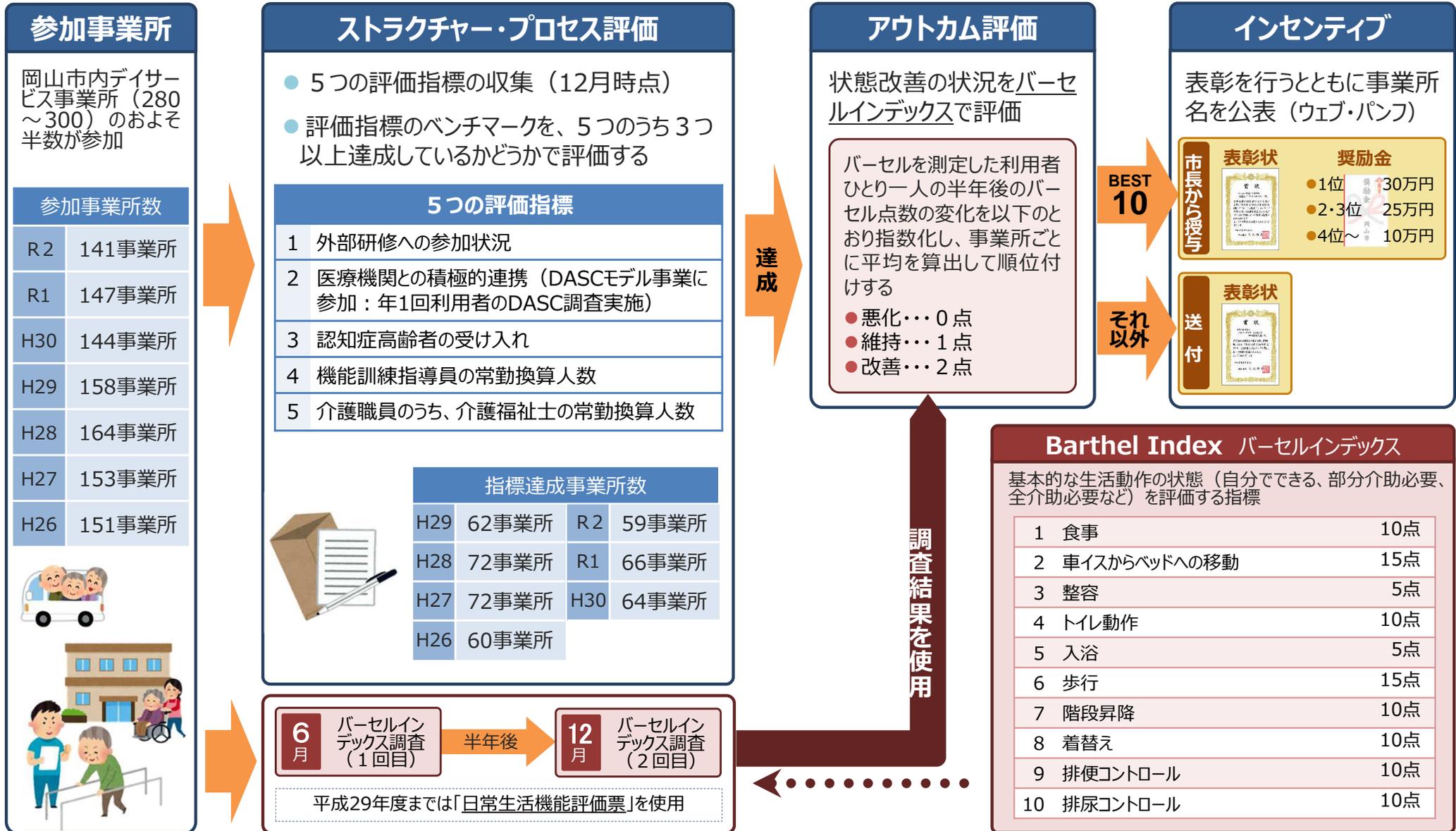


令和2年度デイサービス改善インセンティブ事業の概要

5つの指標で、ストラクチャー・プロセスを評価します。指標を達成した事業所のうちアウトカム評価が上位の事業所には奨励金を付与します。また、DASCモデル事業で、認知症の早期発見・早期対応を図ります。



指標達成事業所とは

下記の5つの指標は岡山市と市内事業所が共同して選定した「デイサービスの質を評価する指標」です。デイサービス改善インセンティブ事業では5つの評価指標のうち、3つ以上の指標のベンチマークを達成した事業所を指標達成参加事業所としています。

	評価指標	ベンチマーク	ベンチマーク達成事業所数
1	外部研修への参加状況 延べ人数／職員数（常勤換算人数）	評価対象事業所の 平均値以上	59事業所
2	医療機関との積極的連携 （DASCモデル事業への参加の有無）		72事業所
3	認知症高齢者の受け入れ人数 実人数／利用定員		54事業所
4	機能訓練指導員の常勤換算人数 常勤換算人数／職員数（常勤換算人数）		50事業所
5	介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数 常勤換算人数／職員数（常勤換算人数）		74事業所

	参加事業所数	3指標以上のベンチマーク達成
令和2年度	141事業所	59事業所
令和元年度	147事業所	66事業所
平成30年度	144事業所	64事業所
平成29年度	158事業所	62事業所
平成28年度	164事業所	72事業所
平成27年度	153事業所	72事業所
平成26年度	151事業所	60事業所

5指標達成 ... 3事業所
4指標達成 ... 18事業所
3指標達成 ... 38事業所

個票の見方①：指標の達成状況

5つの「指標による評価」の補足

	評価指標	考え方
1	外部研修への参加状況	<p>事業所が、職員に対して介護サービスの向上に寄与する研修にどの程度研修にさせているかを評価しています。</p> <p>対象研修は次のとおり</p> <ul style="list-style-type: none">• キャリア段位アセッサー講習研修• 認知症介護指導者研修、認知症介護実践リーダー研修、認知症介護実践者研修• 岡山市主催 介護職員スキルアップ研修（全5回）• 岡山市主催 多職種連携会議 <p>*介護職員スキルアップ研修及び多職種連携会議については、1回の会議に何人出席しても、1人と数えます。</p>
2	医療機関との積極的連携	<p>DASCモデル事業に参加しているかどうかを評価しています。</p>
3	認知症高齢者の受け入れ人数	<p>日常生活自立度 3a以上の認知症の高齢者の受け入れている人数を評価しています。</p>
4	機能訓練指導員の常勤換算人数	<p>理学療法士、作業療法士、柔道整復師、看護師等のリハビリ専門職である機能訓練指導員の人数で評価しています。</p>
5	介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数	<p>専門的知識と技術をもって認知症や寝たきりのお年寄り、障害があるために日常生活を営むことに支障がある人たちに対し、身体的、精神的自立を助けるために入浴、食事、排泄等の介護を行う介護福祉士の人数で評価しています。</p>

個票の見方②：アウトカム評価の達成状況

アウトカム評価上位事業所とは

- デイサービス改善インセンティブ事業参加事業所が、令和2年6月・12月の2回、サービス利用者に**バーセルインデックス調査**を実施します。
- その結果、1回目調査より2回目調査の方が、バーセルインデックスの得点が高い人（状態が維持・改善した人）が多い事業所のうち、利用者の状態の維持改善率が高い事業所の上位10位までが「アウトカム評価上位事業所」として岡山市から奨励金が付与されます。
- 奨励金の金額・・・1位：30万円 2位・3位：25万円 4位～7位：10万円

バーセルインデックスとは

- バーセルインデックスとは、右表に示す10項目の日常生活動作における高齢者の機能的評価を数値化したものです。
 - 岡山市では、平成30年度から、この尺度を使ってデイサービス利用者に調査をして、事業所ごとの維持・改善状況をもとにアウトカム評価を実施しています。
- ※ 平成27年度～平成29年度はアウトカム評価に「日常生活機能評価票」を使用

項目	点数	質問内容	項目	点数	質問内容
1 食事	10	自立、自助具などの装着可、標準的時間内に食べ終える	7 階段昇降	10	自立、手すりなどの使用も可
	5	部分介助（例：おかずを細かくしてもらう）		5	介助または監視を要する
	0	全介助		0	不能
2 車椅子からベッドへの移動	15	自立、プレーキ、フットレストの操作も含む	8 着替え	10	自立、靴・ファスナー・装具の着脱を
	10	軽度の部分介助または監視を要する		5	部分介助、標準的な時間内、半分以上は自分で行える
	5	座ることは可能だがほぼ全介助		0	上記以外
	0	全介助または不可能			
3 整容	5	自立（洗面、整髪、歯磨き、髭剃り）	9 排便コントロール	10	失禁なし、浣腸・座薬の取扱いも可能
	0	部分介助または不可能		5	ときに失禁あり、浣腸・座薬の取扱いに介助を要する者も含む
				0	上記以外
4 トイレ動作	10	自立（衣服の操作、後始末を含む、ポータブル便器などを使用している場合の洗浄も含む）	10 排尿コントロール	10	失禁なし、収尿器の取扱いも可能
	5	部分介助、体を支える、衣服、後始末に介助を要する		5	ときに失禁あり、収尿器の取扱いに介助を要する者も含む
	0	全介助または不可能		0	上記以外
5 入浴	5	自立	合計100点		
	0	部分介助または不可能			
6 歩行	15	45m以上の歩行（補助具も可）			
	10	45m以上の介助歩行（歩行器使用可）			
	5	歩行不能の場合、車椅子にて45m以上の操作可能			
	0	上記以外			